

令和5年5月22日

○鈴木ひでし委員

一点だけ聞かせて。今、保健体育課長さんから、この実績が三千数百万円と金についての具体的な計算式、出していたけれども、いつの消費者物価指数、CPIを使っているのか。

○保健体育課長

こちらにつきましては、令和3年7月から令和5年3月の消費者物価指数における食料の上昇率を使用させていただいております。

○鈴木ひでし委員

3年の7月から何月まで。

○保健体育課長

失礼しました。令和3年7月から令和5年3月の消費者物価指数における食料の上昇率を使用させていただいております。

○鈴木ひでし委員

今あなたの答えで見て、例えば4月に早速、総務省から具体的なCPIの内容が出ているんだよ。そうすると、この中であなた方が書いている学校給食の中の栄養バランスや量を保った学校給食等を維持するためというけれども、4月の時点で調理食品なんていうのは9.3%前年同月比、それだって肉類なんて8.4%、とてもとてもあなた方が多分出したであろう3.4%とか4%なんていうような数字じゃないんだよ。

それ出したのはいいんだけど、この三千数百万円というような数字の根拠というのは、そもそもは3年から今年の要するに3月までというようになっていたときには、物価上昇なんていうのはもう今年に入って物すごい勢いで上がっているわけじゃないですか。そもそもその要するに母数であるところのあなた方がはじき出した数字というようなものが、本当に適正なのかという問題が出てくるんじゃないの。

○保健体育課長

補正予算の積算に活用している食材の消費者物価指数は、先ほどお話ししましたところを使っておりますが、昨年度の6月補正予算時は4.3%でしたが、今回は10.8%として計算をさせていただいております。

○鈴木ひでし委員

いや、今あなたたちが言っているのは、そのあなた方が言っている10.8%だから高いんだろうと言うかもしれないけれども、近々の、要するにこれからまだ上がるかもしれないという状況下の中で言ったらば、あなた方の論拠が崩れないかと。私は、10.8%でも何%でも、どうでもいいんだよ。

そうじゃなくて、前年同月比でこれだけの、要するに本来給食の中の中心となっているものがこれだけ上がっていて、あなた方の使った積算根拠というのは正しいのかと聞いているんだよ。だってどう考えてもあなた、同月比と見ただけでもって、これだけだってもう大変な数が上がっているわけだよ。それを今になって何月から何月までやりましたよ、補正予算でこれを使いましたなん

ていうような論理は成り立たないだろう。

今一番あなた方は、これから金を配らなければならないときに、それこそ実質的に大変な、要するに値上がりしている中でいったら、あなた方が書いてある栄養バランスが取れないじゃない、これなんか見たら。鶏卵なんてすごいよ、16.7%だ。これ、私が言っているんじゃないよ。総務省が出した数字だよ。そうしたら栄養のバランスとは、じゃ、何なんだということになるわけだ、これ。

これ以上言わないけれども、あなた方の書き方というのは気をつけたほうがいいよ。さっきから聞いていると、それは本予算で入れました。だから書けよ、ここに全部。書いておきなさいよ、そんなもの。そうしなければ論議にならないだろう、これ。あなた方は情報を知っていて私たち知らなければ。だからそういうような質問が出るんだよ。

こういうふうに出すときというのは、給食なら給食関係、どういうものが本予算であったんだ。特にあなた方、財務課長の言っているのは、電気とか何とかというようなこともあるんだったら、一番そこは我々なんか聞きたい部分もある。もちろん要するに使う、生徒さんも個々というのも大事だけれども、学校の運営そのもの自体だって大変な問題になっているのに、ここにだけ特化した、それは補助金だからこれ支給されないといったら、それはそれでしょうがないよ。だけれども、そうであるなら、もうちょっと実りある要するにやり取りをやるために、こうして積算根拠なんかについてもきちんとしたものを今後出してもらいたいことをお願いして、質問を終わります。